

もくじ

1. 白雪姫	2
2. はつかねずみと小鳥とソーセージ	36
3. 小人のくつ屋	52
4. ラプンツェル	70
5. しあわせなハンス	96
6. 赤ずきんちゃん	124

しらゆきひめ
白雪姫

原作： グリム童話
イラスト： せきぐち よしみ
編集： YellowBirdProject

よる 夜になって、この家の住人たちが帰ってきました。彼ら
 いえ じゅうにん かれ
 は、山の中で金や鉄を掘っていた、七人の小人たちでした。
 こびと やま なか きん てつ ほ しちにん こびと
 小人たちは家に入るなり、ベッドで眠っている、白雪姫に
 き 気がつきました。

「だれだろう、この娘は？」

「さあ。でもだいぶ疲れているみたいだ」

「しばらくこのまま、寝かせておこう」

やがて、白雪姫が目を覚ました。白雪姫は、七人の
 こびと しらゆきひめ め さ しらゆきひめ しちにん
 小人たちが、ベッドの周りを取り囲んでいるのを見て、
 おどろいて言いました。

「まあ、ごめんなさい。勝手にベッドを使ってしまって」

「いいんだよ。それより、なぜきみはここにきたんだい？」

「きみはなんという名前なの？」



うえ すうにん こびと あらわ
なんとテーブルの上に、数人の『小人』たちが現れ
たのです。

こびと たの うた おど はや
小人たちは楽しそうに、歌い、踊りながら、すごい速さ
でくつを縫いあげました。

で き あ こびと
やがてくつがすべて出来上ると、小人たちはどこかに
き 消えていきました。

ま あさ
いつの間にか、朝になっていました。



「こんにちは、おじょうちゃん。

どこかにお出かけですか？」

「こ、こんにちは、オオカミさん。私は赤ずきんです。

これから病気のおばあさんのお見舞いに行くの」

「ふう～ん、なるほどねえ。

おばあさんの家は、ここから遠いのかな？」

「うん、この道をまっすぐ行ったところにある、

木のお家よ」

「ほほう、そうかいそうかい。

それじゃあ、気をつけてね」

「はーい！」

赤ずきんちゃんは花畠に入り、花を摘み始めました。

オオカミはニヤニヤと笑いながら、森の奥に消えて行きました。

